

【横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール】
第二期指定管理者業務評価表

＜評価基準＞			＜コメント・理由欄＞					
A(著しく優れている):業務基準・目標水準を遥かに上回っている。 B(適正):業務基準・目標水準を達成できている(※標準点) C(改善の必要有):業務基準・目標水準に満たない。又は一部未達成。			A:数値・具体的な事項等を記入のこと。当初予定していなかった事業を実施し効果をあげたり、目標を遥かに上回った理由を記入。 B:目標通り達成できている場合は特にコメント不要。目標と違う方法でも同様の効果が得られた場合はその様に記載。 C:目標に達しなかった理由や今後の改善策を記載のこと。					
基本方針	特記 (提案事項要旨)	目標水準（年度計画）	自己評価	総括コメント	行政評価	総括コメント	外部評価	総括コメント
コスト削減だけでなく、施設の設置経緯・立地環境・地域ニーズ等に応えつつ、高齢者健康づくり、子どもの体力向上、障がい者スポーツなどの新たなスポーツ教室の提供など、市民ニーズやスポーツ振興（第3期横浜市スポーツ推進計画）に資する施設運営や事業を、「afterコロナ」を前提として展開する	・市民の心身の健全な発達とスポーツの振興を図る ・安心・安全・快適性を提供 ・スポーツは心身の健康の保持増進に重要な役割を果たす ・利用者の視点を持った運営 ・地域との連携、協働の推進 ・明るく幸福的な未来へ（従来の枠を超えた新たなサービスの提供）		B	利用者のニーズに応えながら、安心・安全・快適性を最優先に考えスポーツに親しめるよう運営して参りました。 日常的な健全な監視体制はもちろん、設備の点検や運営管理に取り組みながら営業いたしました。未然に事故を防ぐために都度適切な指導を監視員に行い、危険行動の早期発見・事故防止に努めました。 応急対応訓練やAED操作などのスキル習得にも継続して取り組み、緊急時の備えも万全を期しています。 今後も、ご利用者様の視点に立ち、地域との連携を深め、当施設の基本方針であります「明るく幸福的な未来へ」をモットーに安心・安全・快適性を維持・向上させてまいります。	C	水泳指導など市民利用施設として最低限のサービスは提供できているものと考えます。 一方で、本市への報告漏れや度重なる報告内容の記載ミス、依頼事項への対応等の遅滞が多々あり、内部での情報共有不足も見られ、人員・組織の体制に課題を感じており、指導も行っている状況のため、早急な改善を行っていただきたい。 また提案書にかかる未達成事項も多く、施設の安全や利便性向上につながる取組については実施を検討いただきたい。速やかに実施に向けた計画を提出していただきたい。	C	レジオネラ属菌検出の際の横浜市への報告漏れをはじめ、指定管理者内部での連携や体制の部分で課題があると感じている。提案未実施も多いことから、実施計画を策定のうえ、残りの期間での改善を着実に実施すること。

(1) 事業・運営目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準（年度計画）	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
公共性・公平性に基 づいた利用の確保	・「プール障がい者の日」設置（12月9日） ・外国語利用ガイド（英語・中国語・韓国語） ・外国語防災マニュアル（英語・中国語・韓国語） ・利用状況（利用人数、駐車場の混雑）のリアルタイム発信（SNS・HPにて） ・福利厚生団体との連携継続 ・クールシェア・ホットシェアとしての市民利用 ・「ハマハグ」の協賛施設 ・開館時間9:00～20:00 ・スタンプカードの発行継続	・「プール障がい者の日」設定 ・ハマハグの協賛施設として登録 ・共済チケット取扱い ・スタンプカードの発行 ・翻訳機「ポケットーク」配備 ・外国語利用ガイド、外国語防災マニュアルの設置（英語・中国語・韓国語） ・地域ボランティア活動へ参加 ・クールシェア・ホットシェア登録	B	・プール障がい者の日（12月9日）に設定し障がい者手帳を持っているお客様には無料開放を実施します。（令和7年12月実施予定） ・海外の方向けに利用ガイド、英語・中国語・韓国語の資料を作成すると共に翻訳機ポケットークの代わりに手軽に利用できるアプリで対応しています。 ・外国語防災マニュアルは金沢で実施しています。 ・第1期から継続で共済チケット取り扱い・スタンプカードの発行を行っています。 ・多くのお客様に施設を利用いただけるよう、夏季はより涼しく・冬はより暖かく、利用者に施設が快適に保てるような工夫し、テーブルや椅子を多数準備を行い、館内を開放し地域の方々に利用して頂いています。 ・横浜市が実施している子育て家庭応援事業、ハマハグ協賛施設として登録しました。 ・地域ボランティアについては、地域の方々を対象に救急救命講座を実施予定です。	B	利用者への対応・利用条件の設定など、「公共施設」であることを適切に理解した対応ができていると評価できる。 一方で、外国語対応マニュアルが一部施設で未実施等、今後の取組に期待したい。		
利用者本位のサービス提供	・保土ケ谷プール 無料送迎バス ・金沢プール送迎バス運行 ・翻訳機「ポケットーク」配備 ・託児サービスの実施 ・耳マーク掲示 ・筆談ボード ・車イス設置 ・HPの文字拡大・読み上げ機能・外国語対応（アクセシビリティ） ・LGBTQへの配慮（更衣スペースの貸出） ・フィットネスルーム → マシン予約ボード ・「よこはまウォーキングポイント」設置施設 ・サイクルステーション設置 ・キャッシュレス決済の導入 ・プール用品の販売 ・セーフティーボックスの設置 ・更衣室ロッカー新規設置 ・大型ロッカー設置 ・レンタルロッカー設置 ・キッズスペース設置 ・無料Wi-Fi設置 ・休憩・情報コーナーの設置（水泳関連の雑誌・書籍） ・公共交通機関案内 ・傘のレンタル ・近隣飲食マップの掲示 ・利用相談の設置 ・夏休み宿題コーナー設置 ・体組成測定器の設置 ・定期型利用券の設定 ・ロビー等で水泳関連のビデオ上映会 ・横浜マイボトルスポット登録、マイボトルスタンド設置	・車椅子の設置 ・筆談ボード ・キャッシュレス決済の導入 ・耳マーク掲示 ・無料ウォーター設置 ・「よこはまウォーキングポイント」設置 ・ロビーにモニター設置 ・セーフティーボックス設置 ・受付カウンターにプール用品の販売 ・キッズスペース設置 ・公共交通機関案内掲示 ・傘レンタル ・ジェンダーの方は問合せ時に多目的更衣室を貸し出します ・HPの文字拡大・読み上げ機能 ・外国語対応（アクセシビリティ） ・無料送迎バス ・託児サービスの実施 ・無料Wi-Fi設置 ・TVモニター設置	B	・脱水症状や熱中症対策として横浜マイボトルスポット登録を行い、ロビーにウォーターサーバーを設置しお客様に利用していただいています。（令和6年9月～） ・経年劣化による老朽化のため、全更衣室ロッカー新規設置いたしました。（令和6年6月） ・大型ロッカー・レンタルロッカーを新規設置。お客様に利用していただいています。（保：令和6年6月～） ・障がいを持ったお客様が不便なく利用できるよう、車椅子（第一期～）・耳マーク（令和7年6月～）・筆談ボード（令和7年6月～）を設置しました。 ・キッズスペースを設置し、多くの方に利用していただいています。（第一期～※港南はスペース確保が困難なため未実施） ・第1期から継続で受付カウンターにてプール用品販売を行っています。また定期的にワゴンセールを開催し普段、購入できない水着・ゴーグル・タオルなどを販売しお客様に好評を得ています。 ・LGBTQへの配慮として、自己申告があった際、多目的更衣室へご案内をしています。（令和6年4月～） ・多くのお客様にプールを利用していただけるよう無料Wi-Fi設置を行いました。（令和7年7月～） ・休憩・情報コーナーとしてロビー受付前にモニターを設置しました。（令和6年12月） ・第1期から継続で公共交通機関案内・近隣飲食マップの掲示を行っています。 ・託児サービスについては、試験的にイベント等にて実施を重ねる予定です。（令和8年度）	B	ウォーターサーバーやロッカー入替等、利便性向上に寄与する取組が行えている。一方で、キャッシュレスや無料Wi-Fiの設置は一部施設での実施となっていることや、今後予定されている取組も複数あり、さらなる利便性向上を期待したい。		

【横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール】
第二期指定管理者業務評価表

(1) 事業・運営目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準 (年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント
広報・利用促進活動	・学校水泳部への占有利用コース貸出し ・団体貸切による時間外利用対応の継続 ・プールコース 占有利用貸出 ・新聞折込チラシ ・施設情報誌の発行 (年4回)	・広報よこはま (地域版) ・施設案内のチラシ作成 ・新聞折込チラシ ・タウンニュースと連携 ・施設情報誌の発行 (年4回) ・季節ごとに館内装飾 ・学校水泳部にコース貸出し	B	・年間通して中学校・高校・障がい者チームなどに自主事業としてコースの貸出を行っています (第一期～令和6年度実績 港：170名・保：1,959名) (保 10校団体と結んでいる 各団体月4～8回 約10～20人利用) 金沢は施設の立地により該当校が見つからない為未実施です。 ・新聞折込チラシ・タウンニュースと連携し、施設の情報を記事にいただいています。 (年2回 保) ・「広報よこはま」各区版の広報誌等に教室・イベント情報を掲載、市民の皆様に幅広く情報を発信しています (港：年6回、保：年12回、金：年4回) ・年間数回にあたり、教室案内やイベント案内など情報紙を発行して、利用者の集客と地域に特化した施設をアピールを行っています ・お客様に明るい施設を利用していただけるよう毎月季節ごとに館内を装飾しています。	B	各種広報誌・SNS等を使用した広報活動、館内装飾や時間外の団体利用など、提案に沿った広報活動・利用促進が行えていると評価できる。 一方で修繕などの休館による影響もあるが、利用者数の減少は見受けられるため、提案内容でもある利用データの分析に基づく利用促進の取組を期待したい。
スポーツ教室等の計画	・2024年 保土ヶ谷プール「指定運動療法施設」認定 ・総合型地域スポーツクラブとの連携 ・障がい者水泳教室の実施 ・インクルーシブ水泳教室 ・パーソナルトレーニング ・様々なスポーツ教室の開催 ・教室終了後の参加者活動支援 ・水泳教室運営のシステム化 ・障がい者も参加できる教室開催	・指定運動療法施設として認定 ・夏短期水泳教室 ・定期水泳教室・スタジオ教室 ・パーソナルトレーニング ・水泳ビデオクリニック開催 ・オリンピックの水泳指導開催 ・泳力検定開催 ・煩惱スイム 開催 ・マイナースポーツの体験会	A	・厚生労働省に指定運動療法施設として認定。現在、医療機関と保土ヶ谷プールが連携して地域の方々の健康増進に貢献し運営しています。 (第一期～) ・総合型地域スポーツクラブとの連携として占有利用を通して、クラブ活動のサポート連携を常時、行っています。利用者が地域の社会人水泳同好会チームに在籍しており、練習する場所がないとの相談を受け、スポーツ機会の提供として、年末に煩惱スイムなどのイベント誘致や占有利用を頂いています。 (第一期～保) ・(煩惱スイム 令和6年12月 30名の参加) ・インクルーシブ水泳教室として、ハンディキャップのお子様も保護者と面談のうえ一般教室に受け入れを随時、行っています。また障がい者水泳教室 (バラ教室) を設立もしています。 (令和6年9月～) バラ教室 (週1回) 10人 ・参加者活動支援として、教室利用者が水泳の教室前後準備時間を考慮して、プール利用ができる仕組みを推奨しています。なお利用料金に含まれます。 (第一期～) ・年間通して様々なプログラムでプール教室・スタジオ教室を開催しています (港：令和6年20教室 563名令和7年20教室保 2363名：令和6年97教室24,803名 令和7年101教室27,193名、金：令和6年21教室8,973名 令和7年9月まで38教室534名) ・パーソナルトレーニングを常時、受入れ開催している。1回30分でマンツーマンで指導できるサービスとして運用中です。 (第一期～保・金) ・泳力検定 (第一期～保) ・令和3年オリンピックを招待して指導イベント開催。 (保 第一期 85名参加) ・年に2回単発で営業前約30分を利用し水泳ビデオ撮影会を開催しています。 (保 令和6年 6月 3名参加) ・初級バラススポーツ指導員に4名取得 バラススポーツなどの体験会を企画中です。 (保) ・夏短期水泳教室 (第2期～ 82名 金)	B	提案に基づき、プール各種教室やスタジオ教室、また、無料体験会、パーソナルレッスンなど、多種多様な教室等を開催している。一部施設では教室参加者増もあるなど、市民のスポーツへの動機付けやスポーツの場の提供に寄与していると評価できる。 一方で、取組が一部施設のみで実施のものもあるため、ニーズに沿って、拡充等を期待したい。また、一部施設では規定人数に達せず中止した教室も複数あるため、さらなるニーズの見極めを期待したい。
自主事業の計画	・ランニング・ウォーキングステーションの継続 ・子育て世代の「仲間づくり」支援 ・みる スポーツイベント開催 ・日本水泳連盟泳力検定の継続 ・水泳ビデオクリニック ・年間イベントの開催 (毎月イベントを行う) ・オリンピックの水泳指導・イベント ・曜日限定イベント ・地域スポーツイベントに水泳を追加 ・TV撮影協力 ・スポーツイベント・スポーツ指導・安全管理のコンサルティング ・有料マッサージ機設置	・有料マッサージ機設置 ・ランニング・ウォーキングステーションの継続 ・誕生祭の開催 ・こどもの日イベント開催 ・ワゴンセール開催 ・父の日、母の日 参加型イベント 開催 ・節分 参加型イベント 開催 ・オープンウォータースイムツアー開催 ・ベビースイミング開催 ・着衣水泳 実践 ・雛人形の設置・兜の設置	B	・施設の価値観を高めるための施策とし、全てのお客様対象に様々なイベントを開催しています。 (誕生祭 港：令和7年7月11・12・13日 1,130名参加 保：令和6年11月 245名参加) ・施設の周辺をランニングや運動で利用している方にプールを利用してもらう目的でランニングステーションを運用しました。保1回/200円、金1回/600円浴場付きで更衣室を利用できます。 ・子育て世代の「仲間づくり」支援の一環として、定期的に「ベビースイミング」を開催しています。通常、公共プールが開催する場合は保健衛生上の問題で開催することができないですが、プールの水を入れ替える休館日を利用し、横浜市と協議のもと、占有イベントとして開催しています。ベビースイミングは、保護者と赤ちゃんが一緒にプールへ入り、水中でのスキンシップを楽しむとともに同世代の赤ちゃんを持つ、子育て世代のコミュニティのきっかけの一助として支援することが出来ています。 (保 令和6年9月 14名参加) ・年間で一番大きなイベント行事「誕生祭」を開催しています。その際にオリンピックを招待して指導イベントを開催しています。 (保 令和7年11月開催予定) ・令和3年オリンピックを招待して指導イベント開催。 (保 第一期 85名参加) ・TV撮影協力として各メディア媒体より多くの依頼を頂戴しており、基本的に利用者の負担にならない限り、撮影協力をしています。 (第一期～) 保・金 未申請) ・(第二期 港 依頼があるも深夜時間に伴い未実施) ・季節ごとに様座なイベント開催しています。母の日・父の日には似顔絵を書くイベント (保 約100人以上の子供が参加 金 約100人以上の子供が参加) ・節分イベント (令和6年 港 約50名の子供参加 保 約30名以上の子供が参加) ・毎年オープンウォータースイムを開催 (保 第一期～令和7年 9月11人参加) ・保土ヶ谷では毎年着衣水泳を開催 第一期～ (令和6年 6月15名参加) ・5月にこどもの日イベント開催 (港 第一期～令和7年 269名・保 第一期～ 令和7年 240名参加) ・ワゴンセールを定期的開催 (港 第一期～ 年1回・保 第一期～ 年2回・金 第一期～ 年1回) ・毎年、3月ひな人形設置 (保 第一期～3月ひな人形はタウンニュースの記事になっています・金 第一期～) ・5月兜の設置 (保 第一期～) ・有料マッサージ機設置 (金 第一期～)	B	利用者の利便性向上や収入増に向けた物販や機器の設置、また各種イベントの企画・実施など、一定の評価はできる。 一方で提案内容の未実施項目もあり、また提案にある広告事業や現在休止となっている金沢プールの旧レストランスパースの活用等、民間企業のノウハウを活かした自主企画事業を期待したい。

C
各施設ごと利用者を歓迎する環境づくりは行われているものの、安全管理体制には問題がある。特にレジオネラ属菌の報告漏れについては重大な過失と捉えており、安全管理について改善を徹底いただきたい。また、マニュアル整備等事業者として3プール統一の取組の方が、効率かつ迅速にできる部分もあるので検討してほしい。

【横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール】
第二期指定管理者業務評価表

(1) 事業・運営目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準 (年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント
業務履行体制	<ul style="list-style-type: none">・管理本部に企画や営業を担う人材配置・責任・権限の明確化と経験者の配置・施設別、業務別責任者を配置・統括管理本部会議の開催や支援体制に直結した運営管理・業務マニュアル作成と研修・手話教育の実施（手話研修を受ける）・職場をバックアップする体制	<ul style="list-style-type: none">・業務マニュアル作成と研修・サービス向上委員会の設置・プール連絡協議会の設置・「プール運営会議」開催（毎月1回）・グループウェアの活用（共同事業体及び施設間のデータ・情報共有）・統括責任者・副統括責任者・水面責任者・設備員を各施設に配置・4社共同事業体として専門的な知識と経験のある人材を配置	B	<ul style="list-style-type: none">・プール内の業務を円滑に遂行するため、監視・受付など、各セクションごとに担当責任者を配置し、役割分担と連携体制を明確する研修を行いました。（第一期～）・利用者増加にも対応できるよう、柔軟なシフト体制を可能な限り強化しています。（令和6年4月～）・サービスの品質を高める為、3施設管理者の協議の元、最終確認を行いました。（令和6年4月～）・業務履行体制の安定運営に向け、マニュアルの整備を行いました。（第一期～）・定期的な業務確認を通じて、判断基準や対応方針にブレが生じないよう配慮しています。（救助トレーニング・周知ノートの活用）（第一期～）・業務負担の偏りが出ないよう人員配置の最適化も意識しながら、より質の高い運営体制を目指しています。設備の巡回頻度を上げ、施設内の情報共有を迅速に行っています。（令和7年8月～）・グループウェアについて、各社で運用ルールや承認体制が異なるため、情報共有や管理体制の統一が難しく導入に至っていません。・プール連絡協議会の設置（第一期～）・「プール運営会議」開催（毎月1回）（第一期～）	C	業務履行体制の安定経営に向けてのマニュアル整備や、役割分担と連絡体制を明確にする研修をしているとのことであるが、レジオネラ属菌発生時にマニュアルが活用されていないかったり、情報共有不足等もあり、マニュアルが効果的なものになっているののかなど、確認が必要と考える。 グループウェアの活用も難しいことではあるが、情報共有の仕組みが確立されていないために、担当者しかわからない、正しい情報や数字を内部で共有できていないといった状態も見受けられるため、早急に仕組み構築を実施していただきたい。
個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組	<ul style="list-style-type: none">・「個人情報保護方針」を作成し施設に掲示・個人情報を取り扱う従業員には、安全管理の重要性の周知・従業員からは「情報の取り扱いに関する誓約書」を取得・障がい者団体等とのコミュニケーション・女性活躍のさらなる推進・安全・安心な暮らしの実現・誰もが活躍できる豊かな地域・社会づくり・省資源・省エネルギー目標設定・教室の講師、施設管理の専門的業務は市内業者に発注	<ul style="list-style-type: none">・個人情報保護のため教室の申込書を期ごとにまとめ鍵付きのラックに保管。・大小かわらず、修繕が必要な個所は地元の企業へ連絡をし修繕を実施（プール内柵の修繕・サウナ座面修繕・スライダー階段修繕等）	B	<ul style="list-style-type: none">・施設を利用される方の個人情報を適切に取り扱うよう常に意識して業務にあたりました。（令和7年7月～）・申込書の管理は、取り扱いルールの徹底と、情報漏洩を防ぐ対応を心がけました。（令和7年7月～）・情報保護研修などを行い、リスク事例についての教育を随時開催しました。（年1回開催）・利用者の皆さまに対して、業務内容や施設の運営状況などをわかりやすく公開することを意識し、緊急時には掲示物やホームページのお知らせを更新、教室利用者に対しては個別に電話連絡にて対応しました。（第一期～）・問合せ対応にも誠実に応じ、透明性ある対応を心がけました。・年齢・性別・国籍・障がいの有無などにかかわらず、すべての利用者に公平で丁寧な対応ができるよう努めた結果、リピーターが増えました。（第一期～）・筆談対応、外国語案内など、誰もが安心して利用できる環境整備に取り組みました。・空調の効率的運用、ごみの分別徹底など、日常業務の中でできる環境配慮し取り組みました。（第一期～）・リユース品の活用や、印刷物の削減なども心がけ、省資源・省エネルギーに意識を持って業務にあたっています。（第一期～）・小修繕について市内中小企業を優先的に発注しています。（第一期～）	B	現場でのモニタリングで指摘した個人情報の適切な取扱等について、速やかに改善策を対応されており、遅れてはいるが個人情報に係る規程類も整えるなど、対応されている。また、小破修繕について市内中小企業に発注等実施されている。
安全管理（平常時及び緊急時の体制）	<ul style="list-style-type: none">・全職員で日常の巡回点検、危険予知を行い、施設全体の事故等未然防止・すべての職員に一次救命処置と応急手当の教育プログラム実施・水面監視は市の定める基準を遵守・事故等発生時は手順等に従い、救助、二次被害の拡大防止に努める・地域の幼稚園・小学校の先生にライフガード指導・地域の人に参加できるAED研修・緊急対応確認票の設置。（処置方法や当日の役割分担を記載したもの）	<ul style="list-style-type: none">・プールの安全標準指針（文部科学省・国土交通省）を基に、プール施設の安全管理を徹底・日本赤十字社の救助に関する適認証など資格を有する者を配置・すべての職員に一次救命処置と応急手当の教育プログラム実施・消防署協力の基礎避難訓練を実施・地域の人に参加できるAED研修開催・小学校の先生にライフガード指導・事故・災害等のマニュアル作成・監視ルールに「10/20プロテクションルール」を採用	C	<ul style="list-style-type: none">・2024年7月5日、34～36.5℃の水温の影響により、レジオネラ菌が発生しました。閉館後に塩素を高濃度にして対応しました。本件について、横浜市への報告を失念しておりました。・利用者の安全を最優先に考え、日常的な監視体制の徹底に取り組んできました。（第一期～）・事故防止のために声かけの指導を行い、危険行動の早期発見・未然防止に努めました。（第一期～）・応急対応訓練やAED操作などの習得にも取り組み、緊急時の備えも万全を期しています。（第一期～）・利用者の年齢や泳力に応じた見守りを意識し、常に周囲の状況に目を配りながら事故防止に努めました。（第一期～）・滑りやすい箇所や混雑する時間帯には特に注意し、声かけを行うことでトラブルの発生を抑えることができました。（第一期～）・全スタッフを対象に毎月一次救命講習を実施しています。（第一期～）・緊急事案発生時の対応体制として、避難誘導の役割分担を明確にし、毎月訓練を実施しています。全員が迅速に動けるようマニュアルの理解浸透に努め、安全性を最優先にした運営に取り組んでいます。（第一期～）	C	休館日等の営業時間外において、「安全の日」などを設定し安全管理にかかる研修や講習などの取組は各種行えていることは評価できる。 一方で、金沢プールにおけるレジオネラ菌発生について、現場担当者はすぐに清掃・消毒の措置・再検査をしてはいたものの、内部での情報共有がなされず、さらに本市への報告がなかったことは安全管理において重大な過失である。再発防止策を実施していただいているところではあるが、引き続きの適切な安全管理を改めて徹底すること。

【横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール】
第二期指定管理者業務評価表

(1) 事業・運営目標		特記 (提案事項要旨)	目標水準（年度計画）	自己評価	コメント	行政評価	コメント		
第3期横浜市スポーツ推進計画を踏まえた取組		・福利厚生団体との連携 ・総合型地域スポーツクラブとの連携 ・こども貧困問題（水泳教室等の無料参加） ・救急救命講座のアウトリーチ活動（近隣の幼稚園や小学校等） ・部活動の地域連携・地域移行受け入れ ・他のプール・体育館との連携 ・学校水泳部への占有利用コース貸出し ・団体の記録会開催支援等貸切利用 ・マイナースポーツの体験会 ・団体貸切による時間外利用対応の継続 ・障がい者スポーツ指導員の育成（3名） ・地域の人材雇用 ・地域の授産施設製品の販売や資材調達 ・地域の情報発信への協力 ・地域ボランティア活動への参加 ・地域の総合スポーツクラブ支援 ・地域イベントへの参加・協賛 ・学校水泳授業支援 ・中学校の就業体験実施の継続 ・障がい者水泳教室の実施 ・障がい者（障がい者1名） ・高齢者雇用（65歳以上3名雇用） ・初級パラスポーツ指導員4名取得 ・高齢者の雇用3名以上 ・スポーツボランティア活動推進	・福利厚生団体との連携継続中。 ・こども貧困者へ水泳教室等の無料参加。一部のお客様限定は難しい為、実施するのであれば掲示物などで情報発信を行う必要があり殺到する恐れがあります。 ・総合型地域スポーツクラブとの連携。 ・学校水泳部への占有利用コース貸出し ・団体貸切による時間外利用対応の継続。中学校・高校などの教育関連の方々へ時間外利用の支援実施。 ・障がい者水泳教室の実施 ・初級パラスポーツ指導員4名取得 ・高齢者の雇用3名以上 ・常時、障がい者・高齢者雇用の区分を分けず、積極的に雇用している。 ・スポーツボランティア活動推進 地域におけるスポーツボランティア活動の推進。	B	・福利厚生団体との連携継続しています。（第一期～） ・こども貧困者へ水泳教室等の無料参加について市と協議を行い実施方法等模索中です。（第二期～） ・総合型地域スポーツクラブとの連携します。（第二期～） ・学校水泳部への占有利用コース貸出しを行っています。（第一期～保・港） ・団体貸切による時間外利用対応の継続。中学校・高校などの教育関連の方々へ時間外利用の支援実施しております。（第一期～保・港） ・障がい者水泳教室の実施しています。（第二期～保 令和6年 9月～） ・公益財団法人日本パラスポーツ協会「初級パラスポーツ指導員」4名取得しています。（第一期～保） ・高齢者の雇用3名以上（令和6年～）常時、障がい者・高齢者雇用の区分を分けず、積極的に雇用している。現在は65歳以上 5名雇用しております。（第一期～港・金） ・これらの活動は、地域社会の発展と持続可能なスポーツ活動の確立に寄与する働きとなっていると自負しております。 ・関連情報の収集を進めております。	B	多種多様な各種イベントの企画・実施、初級パラスポーツ指導員資格取得やインクルーシブな水泳教室の開催など誰もが参加できるイベント・教室等が設定されており、第3期横浜市スポーツ推進計画を踏まえた各種取組が行われており評価できる。 一方で、一部施設での実施にとどまっている取組も複数あるため、拡充等期待したい。		
(2) 維持管理目標		特記 (提案事項要旨)	目標水準（年度計画）	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
メンテナンス及び環境保持・環境配慮		・市民・利用者にとって安全・安心・快適な「環境」を提供する ・施設特性の理解と課題へ対応した維持管理の実施	・常駐設備員の巡回による点検 ・フードドライブの実施 ・不要になったコピー用紙の裏紙を活用する	B	・常駐設備員の日常の巡回により、不具合箇所を早期発見し早期修繕を構築いたします。（第一期～） ・食品ロスの観点から継続してフードドライブの実施を続けています。（第一期～保） ・急遽の休館や一部施設不具合が発生した場合、市へ情報共有、HPやSNSを通じて利用者様への告知、協力会社へ修繕要請し早期復旧を目指します。（第一期～） ・不要になったコピー用紙の再利用や裏紙をメモ帳に使い、コピー用紙の使用量を削減するよう努めます。（第一期～） ・金沢プール急遽、休館になった日程 令和6年度 8月1日館内（女子浴室地下）46日間（8月2日～9月17日） 原因は地下ピット漏水のため・対応は地下ピット配管交換 令和7年度1月14日機械室73日間（1月15日～3月29日）原因は蒸気漏れのため 対応は蒸気弁交換 令和7年度 7月11日お風呂機械室4日間（7月12日～7月15日） 原因は循環ポンプ配管破損のため・対応は配管交換 ・令和7年度8月6日幼児プール1日間（9:00～17:00） 原因は幼児プールバタフライ弁交換のため・対応はバタフライ弁交換 ・令和7年度 8月29日スライダー3日間（8月29日～8月31日） 原因はスライダーのベンキが剥がれプール内に落下したため 対応は点検し、経過観察 ・令和7年度9月26日アクアプール2日間（9月26日～9月27日） 原因は水温計破損しガラス部分がプール内に散乱したため	B	提案通り、巡回点検等日常監視や、一部の施設ではあるがフードドライブの設置について、実施できている。 一方で設備の老朽化などの要因もあるが、一部の施設では、突発の設備トラブルによる休館や一部止が多々見受けられ、令和6年度は施設内情報共有不足もあり、対応に時間がかかってしまう場面も見受けられた。令和7年度現在では、頻度が減少し、また発生時の対応も改善が見られるため、引き続き適切な維持保全・メンテナンスによる施設管理を期待したい。	C	各プール内、指定管理者全体としても情報共有や連絡体制に課題がある。各プール内での改善は取り組んでいるが、指定管理者全体としても、体制強化をに向けた取組を実施すること。
快適な施設環境の提供		・日常清掃、定期清掃における実施頻度と方法を定め、計画的に行う ・環境衛生管理業務として空気環境測定業務を行う ・より快適に施設を利用していただく工夫を行う	・環境保持の観点から、定期清掃、剪定作業を年1回実施 ・落ち葉など施設周りの清掃を定期的に実施 ・施設周辺清掃（保土ヶ谷・港南・金沢） ・入口自動ドア、排煙口などすべての窓を開け空気の換気を実施 ・更衣室ロッカーの新設、レンタルロッカーの設置 ・休憩コーナーの設置 ・男性用サニタリーボックスの設置	B	・常駐スタッフによる日常清掃や落ち葉清掃の実施、休館日を利用した年1回の定期清掃と剪定作業を実施しました。（第一期～） ・剪定作業においては、樹木の状態を見極め低木剪定、高木剪定とを実施しコストを抑えつつ適切な状態を維持しました。（第一期～） ・入口自動ドア、排煙口などを開放し空気の入替えや湿気対策を行いました。（第一期～） ・更衣室ロッカーを新設し、快適にご利用いただけた様になりました。（第二期～保・港） ・水泳による疲労や教室等でお待ちになる方に大広間、観覧席、自販機コーナーで休憩を取れるようにしました。（第一期～） ・男子トイレ個室にサニタリーボックスを設置し安心してご利用いただけるように努めました。（第一期～）	B	計画的に定期清掃・チェックリストを用いた日常清掃を行っており、また、要望があった際も迅速に清掃等対応できている。 また、更衣室ロッカーについても老朽化・錆がひどい状況であったが、自主的な取組として、忘れ物を取り出せる小窓付きの新規ロッカーとなり、快適な施設環境の提供に努められていると評価できる。		
修繕等への取組		・施設の安全確保及び長寿命化の観点から、適切な修繕計画に取り組む ・予防保全やスポット工事等に取り組む、修繕費の効果的な活用を行う	・設備員とミーティングを行い、修繕箇所の洗出しをし優先順位を決め 計画的修繕を実施 ・月1回の会議で不具合箇所の報告、実施予定などの共有	B	・常駐設備員とのミーティングを行い、計画的修繕を実施しています。（第一期～） ・月1回の会議にて各プールでの不具合箇所等の共有をし、予防的修繕をする事を心掛けています。（第一期～） ・劣化調査を元に見積依頼し順次修繕を計画しています。（第二期～）	C	優先順位をつけ、順々に修繕対応を行っているが、一部の施設で、前述のとおり、指定管理者内での情報共有の不足や対応の遅延も見られる。第1期から継続して指定管理を実施しているにもかかわらず、令和6年度には施設構造の十分な把握ができていなかったということも見受けられた。 また、令和6年度について、必要な修繕箇所があるにもかかわらず、修繕費の残が発生しているため、令和7年度以降は計画的な執行により残予算発生の改善を期待している。		

・福利厚生団体との連携継続中。

・こども貧困者へ水泳教室等の無料参加。一部のお客様限定は難しい為、実施するのであれば掲示物などで情報発信を行う必要があり殺到する恐れがあります。

・総合型地域スポーツクラブとの連携。

・学校水泳部への占有利用コース貸出し

・団体貸切による時間外利用対応の継続。中学校・高校などの教育関連の方々へ時間外利用の支援実施。

・障がい者水泳教室の実施

・初級パラスポーツ指導員4名取得

・高齢者の雇用3名以上

・常時、障がい者・高齢者雇用の区分を分けず、積極的に雇用している。

・スポーツボランティア活動推進

地域におけるスポーツボランティア活動の推進。

B

・福利厚生団体との連携継続しています。（第一期～）

・こども貧困者へ水泳教室等の無料参加について市と協議を行い実施方法等模索中です。（第二期～）

・総合型地域スポーツクラブとの連携します。（第二期～）

・学校水泳部への占有利用コース貸出しを行っています。（第一期～保・港）

・団体貸切による時間外利用対応の継続。中学校・高校などの教育関連の方々へ時間外利用の支援実施しております。（第一期～保・港）

・障がい者水泳教室の実施しています。（第二期～保 令和6年 9月～）

・公益財団法人日本パラスポーツ協会「初級パラスポーツ指導員」4名取得しています。（第一期～保）

・高齢者の雇用3名以上（令和6年～）常時、障がい者・高齢者雇用の区分を分けず、積極的に雇用している。現在は65歳以上 5名雇用しております。（第一期～港・金）

・これらの活動は、地域社会の発展と持続可能なスポーツ活動の確立に寄与する働きとなっていると自負しております。

・関連情報の収集を進めております。

B

多様な各種イベントの企画・実施、初級パラスポーツ指導員資格取得やインクルーシブな水泳教室の開催など誰もが参加できるイベント・教室等が設定されており、第3期横浜市スポーツ推進計画を踏まえた各種取組が行われており評価できる。

一方で、一部施設での実施にとどまっている取組も複数あるため、拡充等期待したい。

【横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール】
第二期指定管理者業務評価表

(3) 収支目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準 (年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
利用料金等収入増への取組	・無料送迎バス ・利便性向上、広告・PR、スポーツ教室の収入増 ・外壁広告収入	・無料送迎バスの運行 ・利便性向上、広告・PR、スポーツ教室の収入増 ・外壁広告による収入を目指す	C	・運転手の確保が難しい状況。市バスや臨港バスに路線の追加を依頼するも廃線にした路線を復活させるの事は不可の為、再度運転手の確保を行う予定です。 ・チラシや無料券を作成しケアプラザ等へ配布しており、イベントを企画運営しております。 (港・金 第二期～) ・外壁建設工事を行う業者選定が難航しております。ですので、まずは収入増加という観点から、HPのパナー等で広告を出す予定であります。	C	様々なイベントの企画・実施、広報活動等に取り組んでいることは見られるものの、自己評価のとおり、送迎バスの運行、外壁広告やHPパナーの新規の取組が達成できていない状況のため、早期に課題解決に取り組み、令和7年度以降の実現に期待したい。		
施設の課題等に応じた費用配分	・経費削減 ・修繕費 ・水道光熱費	・経費削減を目指し人員配置の再考 ・修繕費（令和6年～）毎年度、統括責任者と設備責任者にて、施設内の修繕優先順位を確認し、適切に実施できるように努めております。 ・節水節電の徹底	B	・施設の安全確保を最優先とした結果、大幅な人員削減には至りませんでした。（第二期～） ・修繕費毎年度、統括責任者と設備責任者にて、施設内の修繕優先順位を確認し、適切に実施できるように努めております。（第一期～） ・水道光熱費物価高騰により影響を受けておりますが、節水・節電を心がけております。（第一期～）	C	令和6年度については、修繕箇所はあるものの、修繕費として予算計上していた額に執行残額が発生したという状況が見られたため、修繕費を最大限活用いただき修繕を進めていく必要があると考える。 人員配置の見直しにあたっては、報告の遅延漏れや正確な収支の報告といった課題も考慮のうえ、進めていただきたい。		
効率的な管理運営	・管理本部による主導体制 ・責任・権限の明確化 ・統括本部会議の開催 ・施設別、業務別責任者の配置	・管理本部による企画、営業方針の作成 ・各分野において経験者による業務分担 ・定期的に会議を開催 ・各施設に業務別責任者を配置	B	・管理本部に企画や営業を担う人材を配置し利用増等に積極的に取り組みました。（第一期～） ・責任・権限の明確化と経験者の配置により頼られる運営管理を行います。（第一期～） ・統括管理本部会議の開催や支援体制により企業として責任を持った管理運営を行います。（第一期～） ・施設別、業務別責任者を配置し、役割の明確と迅速な管理運営を行います。（第一期～）	C	人員配置の工夫により利用増に取り組まれていると記載がある一方で、令和6年度の実績としては施設運営収入が全ての施設において提案に満たない状況となっている。また自主事業にかかる収入もすべての施設において大幅に満たない状況となっている。工事等による休館に伴う利用者数の伸び悩みも一因と推測されるが、提案内容にある利用料金収入増にかかる取組など、未実施の項目が複数あるため、着実に実施するなどし、収支の改善に期待したい。 また、記載されている責任・権限の明確化や、統括管理本部会議の開催や支援体制について行っているとはあるが、結果として内部での共有不足や報告いただく数字の再三の誤り等、必ずしも有効に機能しているとは言えないため、改善をお願いしたい。	C	各プールごとに利用増に向けて取り組んでいるとのことだが、目標に達していない。送迎バスなど、未実施項目もあるため、残りの期間で着実に実施し、目標を達成いただきたい。
適正な委託・調達・雇用	・委託・調達は購買等のルールを設定 ・雇用は市民を優先し、適正且つオープンな方法で人材確保 ・運営管理業務はほぼ社員が実施 ・業務報告書の提出義務付け ・教室の指導員を市内から採用 ・適正な契約の実施 ・ミーティング ・委託の履行評価 ・高齢者、障がい者雇用を推進 ・65歳以上の雇用2名以上 ・ワーク・ライフ・バランスの取組み ・女性活躍推進法の推進 ・従事者面談の実施	・委託・調達は購買等のルールを設定 ・雇用は市民を優先し、適正且つオープンな方法で人材確保 ・運営管理業務はほぼ社員が実施 ・業務報告書の提出義務付け ・教室の指導員を市内から採用 ・指導員との適正な契約の実施 ・統括責任者と、講師間のミーティング ・委託業務の履行評価の実施 ・高齢者、障がい者雇用を推進 ・ワーク・ライフ・バランスの取組み ・女性活躍推進法の推進 ・従事者面談の実施	A	・委託する際は協定書や覚書等を交わしています。（第一期～） ・基本的な人材雇用の概念として、横浜市民を第一に考え雇用を実施。また、障がい者・高齢者雇用の区分を分けず、積極的に雇用してます。（第一期～） ・運営管理責任者に関しては、100%社員のみで実施を行っております。（第一期～） ・報告書のブラッシュアップ含めて常により良いものを提出を実施しています。。（第一期～） ・積極的に横浜市内から採用を行っております。（第一期～） ・指導員の面接を行い、適正・資格の確認を実施します。 ・統括責任者と、教室講師間ですぐに相談できる環境を構築し、教室状況の情報入手や安全管理の徹底しています。（第一期～） ・毎年度始めに委託業務は年1回、報告書等確認やヒアリングを行い履行状況の評価を行っています。（第一期～） ・65歳以上の雇用2名以上の雇用を実施しております。（港、金 第一期～） ・時間外（早出・残業）は常に統括責任者にて把握し、心身共に健康な状態を維持できるように管理を徹底しています。（第一期～） ・現在の割合は30%なので、継続して女性雇用を意欲的に行います。（第一期～） ・最低でも年に2回は面談の場を持つようにしている。また、常に職場環境に関するニーズを聞けるような関係性を構築しております。（第一期～）	B	提案に基づき、市内から雇用等着実に進めている。また、教室の講師、受付スタッフや監視員など、地域住民の積極的な雇用により、横浜市の地域活性化へ貢献している。		

【横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール】
第二期指定管理者業務評価表

(4) その他目標	特記 (提案事項要旨)	目標水準 (年度計画)	自己評価	コメント	行政評価	コメント	外部評価	コメント
地域支援・地域連携・地域貢献	<ul style="list-style-type: none">・地域におけるスポーツ振興事業の取組・地域コミュニティ、地域施設の支援や教育機関や関連団体と連携・施設を拠点としたネットワークを構築し、地域イベント開催・教育機関、関連団体のコミュニケーションを強化・地域や教育機関、関係団体に対応した管理・運営・指定運動療法施設・地域のボランティア活動に参加・こども110番	<ul style="list-style-type: none">・地元開催イベントへの協賛やスタッフによる地域活動への参画・地域の清掃活動や福祉活動などのボランティア活動への参加・各施設の設置されている区の全中学校に働きかけ、職場体験を受け入れ・地域コミュニティと連携したイベントの企画・誕生祭イベントに地域自治体と連携して、イベントを開催・チラシラックを設置し地域情報発信に協力・こども110番の申請	B	<ul style="list-style-type: none">・市内水泳大会にライフガードの派遣 2名しました。(保 第一期～)・金沢清掃工場主催イベント2名参加 予定です。(金 令和7年11月)・地域活動としての清掃は行えていません。・近隣中学2校より受入ています。(金 第一期～)・誕生祭で隣接する高齢者施設蓬萊壮と連携を図ったが、施設不具合により臨時休館となった為、合同イベントは来年度延期しました。(港 令和8年7月)・誕生祭イベントでは、地域自治体との連携は実現していませんが(公財) 横浜市緑の協会と合同イベントを実施します。(保 第二期～)・チラシラックをロビーに設置しました。(第一期～)・申請登録済み (港 令和7年9月～)	B	学校の部活動や障害者団体への施設の貸出やゴミ拾い・ウォーキングはじめ施設主催の各種イベント、誕生祭等の近隣との連携など、地域支援・地域連携・地域貢献に資する取組は見受けられます。一方、提案にある利用者懇談会、横浜市スポーツ推進委員との連携、地域団体・教育機関への訪問による利用者ニーズのヒアリングなどの取組が現状見受けられないため、今後の取組に期待したい。		
自己評価・第三者評価	<ul style="list-style-type: none">・PDCAマネジメントサイクルを基準とした継続的な改善体制を構築・総括責任者自身による四半期自主モニタリング・定期的な内部監査・毎月ごとの事業統括本部による自己評価・「第三者評価機関」による評価制度を導入	<ul style="list-style-type: none">・業務の履行状況に関する事、サービスの質に関する事、安全に関する事、収支状況等に関する事、自主事業の運営に関する事、各種諸規定等の遵守状況に関する事を踏まえモニタリングや内部監査を実施・年度目標数値の達成状況の確認・収支計画の執行状況の確認・修繕計画の履行状況の確認・職員のお客様対応や施設的美観の確認・苦情・要望・事件・事故対応報告の履行状況の確認・お客様満足度の調査結果の報告	C	<ul style="list-style-type: none">・報告物の漏れ、提出期限、正確性、情報共有、チェック体制では水準に達することが出来ませんでした。・会議で問題、課題を共有、各施設にアンケートボックスを設置し利用者からの意見を施設に反映し、サービス、安全性、苦情、要望、事件、事故対応報告に関しては一定水準に達していました。・予防的修繕計画を立てていたが、経年劣化による予期できない不具合が発生した為計画通り遂行でませんでした。	C	利用者からいただいた意見について、内部で話し合っている、検討が途中になっており、集約も十分にできていない状況である。前述の通り、報告漏れや修繕の点など課題もあるため、改善いただきたい。	C	提案未実施内容が多く、残りの期間での改善を着実に実施すること。
新型コロナウイルス感染症等への対応	<ul style="list-style-type: none">・アクリルパーテーションの設置・「手指消毒液」の配置・任意な検温・三密回避や消毒等のチラシ、掲示等の実施・窓開放による換気・こまめなうがい、手洗いの徹底・利用者対応時はマスク着用	<ul style="list-style-type: none">・アルコール消毒液の設置・ロッカーや手すりにアルコールを使用し拭き掃除・自動ドアの開放・プールサイドのトイレの塩素消毒・シャワールームは塩素散布	B	<ul style="list-style-type: none">・感染症対策を徹底しながら、安心して利用いただける施設運営に努めました。(第一期～)・消毒薬の設置、館内清掃・換気の徹底、定期的な設備消毒など基本的な対応を継続しています。(第一期～)・利用者にもご協力を呼びかけることで、トラブルやクラスター発生を防止しています。(第一期～)・日々の清掃業務を強化。(第一期～)今後も地域住民の安全を第一に考え、状況に応じた柔軟な対応を心がけていきます。感染症予防を強く意識し、共用部の消毒回数を増やすなどして対応しました。特に人の手が触れる場所を重点的に管理し、利用者が安心して施設を使えるよう配慮しました。今後も衛生面での意識を高く持ち、継続的な安全対策に努めてまいります。	B	利用者の安心・安全面として日常清掃、定期的な清掃消毒や換気など、基本的な感染症予防の取組が継続できている。一方、新規の利用者の取り込み・現利用者の維持など利用者数の伸び悩みは課題であり、また、多くの市民がスポーツに親しむことにも繋がるため、施設の価値や魅力を高めるイベント等の取組や、広報・営業活動等を引き続き期待したい。		